

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
皆さまにおかれましては、お健やかに新しい年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より本会が取り組んでおります地域福祉活動の推進につきまして、ご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、近年の急速な地域社会の変化により家族や住民間の関係は希薄化し、高齢者の孤立や児童虐待、経済的困窮といった、さまざまな社会問題が深刻化しています。これらの課題への対応には、地域住民とその解決に資する支援を行う関係機関との連携等による地域共生社会の実現のた



めの仕組みづくりが必要とされます。

そのような中、社会福祉協議会といたしましても、社会福祉法人制度の改革による新体制の発足や、生活支援体制整備事業「支え合い推進会議」の設置の推進に取り組み、新たな日常生活支援体制の仕組みづくりを進めた大きな節目の年となりました。

今後とも多様化するであろう住民の福祉ニーズに応え、地域福祉事業を推進していくためには、地域の皆さまの支え合いがますます重要になります。

本年も校区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会をはじめ、関係団体や市民の皆さまと一体となり、地域福祉の課題解決に努め、「『こころ』あふれる支え合いのまちくるめ」の実現を目指してまいります。

どうぞ本年も変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年をふり返る 社会福祉協議会 この1年

●九州北部豪雨の被災地支援(7月～10月)

7月11日から、朝倉市災害ボランティアセンターの運営支援として、社協職員を10月15日まで延べ164人派遣しました。ボランティアを被災地に送迎する「災害ボランティアバス」を運行し、延べ753人のボランティアが参加されました。

●共同募金優秀地区会長表彰5年連続受賞(10月)

●ふくおかライフレスキュー事業へ加入

生活困窮者支援事業として、市内の社会福祉法人相互の連携のもと、取り組みました。



災害ボランティアセンターの様子

●^{まる}楽し〇カフェオープン(9月～)

田主丸老人福祉センターで、誰でも参加できるサロンをはじめました。(毎月第3水曜日に開催)

●支え合い推進会議の取り組みが広がる

生活支援体制整備事業に伴う、校区の「支え合い推進会議」の取り組みが、12月末までで17校区で開催されました。

●社協ボランティアセンターリニューアル

専用の相談カウンターを設け、より利用しやすくなりました。9月からはボランティアセンター情報紙「まれっと」の発行を始めました。



^{まる}楽し〇カフェ